

## 銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎



8月のアルミ概況および9月の見通し (3)

## 予想レンジ

LME現物後場買い	2,000-2,200ドル	●
スクラップ	+5円~10円(前月最終価格より)	★
為替	145円~150円	円安
(1か月間TTM)		

## ■国内概況まとめ

## 【自動車】

## 【自動車生産】

生産動態統計によると7月の自動車生産台数は前年比+13%の74万3,347台。輸出は前年同月比+11.4%の36万9,898台。

## 【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると7月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+19.4%の21万8,365台。

内訳は乗用車が+18.8%、貨物が+23%、バスが+19.4%。

## 【住宅着工戸数】

7月の新設住宅着工は、持家は減少したが、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比6.7%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比4.1%の減少となった。

○新設住宅着工戸数は68,151戸。前年同月比6.7%減、2か月連続の減少。

○新設住宅着工床面積は5,377千㎡。前年同月比8.6%減、6か月連続の減少。

○季節調整済年率換算値では778千戸。前月比4.1%減、2か月連続の減少。

## 【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-5.6%の14万7,351tで16か月連続マイナス。

板類は9万2,163tで-6.6%の15か月連続マイナス。押出類は5万5,188tで-3.7%の19か月連続マイナス。

## 【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比+5.1%の6万4,256tで3か月連続プラス。出荷は+3.8%の6万3,606tで2か月連続プラス。

## ●アルミ

## 【輸出】

新地金は+60.9%の288t。

二次合金は-68.9%の658t。

スクラップは+29%の4万8,799t。

アルミ缶は+32.2%の6,560t。

## 【輸入】

新地金は-22.3%の8万6,295t。

二次合金は+24.4%の8万7,481t。  
スクラップ-32.7%の290t。  
合金スクラップ+18.7%の6,579t。

## 【見通し】

## 【自動車】

7月の自動車生産が+13%。8月国内販売台数が前年比+19.4%で7か月連続で生産、販売共に回復の兆しあり、今後期待。

## 【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-5.6%の14万7,351tで16か月連続マイナス。

スマホ、エアコン需要の低迷から来月も期待薄。

## 【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比+5.1%の6万4,256tで3か月連続プラス。

出荷は+3.8%の6万3,606tで2か月連続プラス。

日本の自動車生産販売は堅調、今後期待。

## 【スクラップ景況予想】

流通(一次同屋)在庫は前月に続きLME価格が2,195-2,140ドルと前月より50ドル程度下落傾向だった。自動車生産は回復基調にあるが今月もまだ入荷も少なそう。需要面に関しては、日本の自動車生産販売が堅調なこと、円安から輸入物が高くなっていることから需要がでてきた。

今月はさらに需要が増えるのでは。

## 【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。

- ①米FRBの金融政策
- ②中国景気回復の動向

①に関しては、8月25日のパウエルFRB議長の講演で市場にサプライズを与えるものではなかったことから9月の連邦公開市場委員会(FOMC)での利上げは想定されていないとの見解。

②に関しては、不動産バブル崩壊が深刻化する中国において大手デベロッパーの不良債権が次々と明るみに出ている。当局としては対策を出しているもののイタごっこなのが現状。景気後退は避けられない。

これらを踏まえた今月のアルミ価格は2,000-2,200ドル(セツル)との予想。

ドル円値は145円~150円(TTM)台を予測。

スクラップ購入価格に関しては+5~10円程度と予想している。

(「8月のアルミの概況及び9月の見通し」おわり)

非鉄金属全般・金属リサイクル  
新棒コロ・砲金・銅滓

株式会社 高田商店

代表取締役 高田晋善

〒544-0001 大阪市生野区新今里 7-10-26

TEL 06-6753-1643 Fax 06-6753-4545